

中小企業景況調査概況

福井県信用保証協会では、協会利用企業者の現状を把握し中小企業の経営をサポートするため、景況調査を実施しましたので調査結果をお知らせいたします。

(当協会の利用企業は従業員20人以下の企業が9割以上を占めています。)

概要

今回調査における中小企業の景況感は、「業況」、「売上高」、「採算」、「資金繰り」で前回(令和元年10月～12月)調査より悪化し、厳しい状況となった

来期(令和3年1～3月)については、上記4項目でさらなる悪化が予想されており、新型コロナウイルス感染症の収束見通しも不透明であることから、引続き、厳しい状況が見込まれる

企業の声

消費が著しく落ちている。感染症から完全に脱却するまでこの状態は続くものと考え

営業活動の自粛により海外・県外への出張が出来ず、従業員の健康を考えると無理に強要は出来ない

コロナで宿泊・宴会がなくなり、今後は弁当の方に力をかたむけていくしかない

客先への訪問がコロナの影響で厳しくなっている。このまま続くようだと、新規客の増加が見込めない

景況アンケート

今期(令和2年10～12月)の業況DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIが悪化

来期は仕入価格DIについて横ばいが予想されるが、それ以外の全ての項目で悪化が予想される

経営上の問題点としては、新型コロナウイルス感染症の影響もあって「売上・受注の減少」を挙げる企業が多く見受けられた

[当協会利用の500企業を対象に実施、200企業が回答(回答率40.0%)]

新型コロナウイルス感染症の影響等に関する調査

1. 新型コロナウイルス感染症の影響

「新型コロナウイルス感染症による貴社への影響はありますか」という質問に対し、「影響がある」と回答された企業が200企業のうち159企業(79.5%)となった

「影響がある」と回答された企業に対し具体的な影響について聞いたところ、「売上・受注の減少」と回答された企業が159企業のうち143企業(89.9%)と最も多く、次いで「営業活動の縮小」53企業(33.3%)、「資金繰りの悪化」47企業(29.6%)となった

2. 融資制度の利用状況

「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方に向けて、実質無利子・無保証料の融資制度があることをご存知ですか」という質問に対し、「知っている」と回答された企業が78.0%となった

「知っている」と回答された企業に対し融資制度を利用しているか聞いたところ、「はい」と回答された企業が78.9%となり、「いいえ」と回答された企業の中でも「利用予定あり」と回答された企業が8.3%となった。新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰りが悪化し、融資制度を利用する企業が多いことがうかがえる

3. 新型コロナウイルス感染症の影響に対し、期待する支援

新型コロナウイルス感染症の影響に対し期待する支援について聞いたところ「税制の優遇措置」が200企業のうち127企業(63.5%)と最も多く、次いで「休業・売上減少の補償金」79企業(39.5%)、「融資制度の継続・拡充」74企業(37.0%)となった